

●水道局民営化について

Q.

先日、畑に水をひこうと思い、水道局に電話していたら新発田市の水道局が近隣の水道局と合併しませんかという話があるらしいと伺いました。それ自体に問題はないと思いますが、万が一、仙台のように水道局民営化という話が出たときに一気に民営化に持って行かれないか心配です。民営化になり水質が海外のように悪くはならないか？こういう話も聞きました。水道料金を払い忘れ、支払ったのにも関わらず何ヶ月も信頼性がないと言う理由で水を止められると言うことがあったそうです。命に関わる水を何ヶ月も止められるとどうなるか想像が付きません。若い人は生活が乱れ、うっかりということなんてあると思うのです。命に関わる水は行政で守って行かなくてはいけないと私は考えます。是非、水道局民営化の危険性を少しでも回避して頂きたいと思います。

(令和5年11月受付)

A.

命に関わる「水」は、生活するうえで一日たりとも欠くことのできないものです。新発田の水道は、100年近い長い歴史があり、この水道を維持することはもちろん、これから50年先、100年先の世代まで安定しておいしい水を届け続けるのは、市長の責任であるという強い信念を持っております。

水道は市民の皆様の生活に直結するライフラインであり、将来にわたり安全で安心な水道水を供給し続けることは水道事業者の責務であります。

なお、本市では、効率的な事業運営を推進するため、水道料金の徴収など一部の業務を民間事業者へ委託しておりますが、水道水の製造や供給、古くなった水道管の更新や災害時の対応といった、事業の根幹に関わる業務については、今後も市が責任をもって運営してまいります。

これからも、水道水の安定供給と水道事業の健全化のために、経費の節減や業務の効率化に努めながら、お客さまに信頼されるよう、市が責任を持って安定した経営を行ってまいります。

(令和5年12月7日回答)

※上記の回答内容はすべて回答日時点のものであり、現在とは異なる場合があります。